



報道関係各位

2007年9月3日
ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社

ウォッチガード、
「Fireware9.1」「FirewarePro 9.1」および「Edge 8.6」を発表
～UTM アプライアンスの機能を大幅に強化～

統合脅威管理(UTM)のリーディング・プロバイダーであるウォッチガード・テクノロジー社の日本法人、ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中井 健二、以下、ウォッチガード）は、同社の UTM アプライアンス Firebox e-Series の機能を大幅に強化する、オペレーティングシステム（OS）3 製品のアップデートを、本日発表しました。今回の導入により、Firebox の信頼性、機能の強化および性能向上が実現され、より完成度の高い UTM アプライアンスが利用可能となりました。e-Series Peak、Core を対象とした「Fireware9.1」、その拡張版である「Fireware Pro 9.1」と e-Series Edge を対象とした「Edge 8.6」は、今後ウォッチガードから出荷される製品に、標準搭載されます。また、既に Fireware シリーズまたは Edge をご利用中のお客様には、ウォッチガードの保守パッケージであるライブセキュリティを契約中であることを条件に、無償で提供されます。

日本法人 代表取締役の中井健二は「中小規模企業向けの UTM アプライアンスに求められる、ほぼ全ての機能・性能が今回の発表で実現されました。Firebox e-Series は UTM 分野で最もユーザーの要求にマッチした製品となりました。企業のネットワークセキュリティを最小限の投資、簡単な運用管理で実現するための全てが実装されています。」と述べています。

「Fireware9.1」、 「FirewarePro 9.1」の主な新機能

●迷惑メール検疫機能

迷惑メール対策サービス “spamBlocker” の追加機能として、迷惑メールの隔離、処理、廃棄を行うための検疫機能が追加。

●POP3 プロキシの追加

外部にメールサーバーを置いている利用者をサポートするための、POP3 プロキシが追加。

●アンチ・ウィルス機能利用時のファイル・サイズ制限の廃止

GAV/IPS サービスに設定されていた添付ファイル、ダウンロードファイルの最大スキャンサイズの制限を廃止。

●FTP へのアンチ・ウィルス機能拡張

GAV/IPS サービスに新たに FTP プロトコルが追加。内部、外部からの要求に関わらずアンチ・ウィルス機能が利用可能。

●外部要求に対するサーバー負荷分散機能

E コマースサイト等の運営企業では、複数サーバーの効率的な運用が必須なため、新たに最大 10 台までのサーバー構成に負荷分散機能を提供。

※この機能は、FirewarePro9.1 のみ対応。

「Edge 8.6」の主な新機能

●SMTP プロキシの追加

能動的な侵入阻止機能が SMTP を使用した Syn Flood、DDoS などの攻撃からシステムを防御。内部にメールサーバーを設置しているユーザーに対して、精緻な設定により完璧な防御を提供。

●堅牢な VPN 切替、復旧機能

VPN 構成のネットワーク障害に対応して自動的なゲートウェイの切替、復旧機能を提供。

●リポーティング機能の強化

セキュリティサービスにより検知・阻止された脅威に関する統計データ、時系列データを加工し表示、出力が可能。

●QoS 機能の強化

ファイアウォールを通過するアプリケーションに対して、適切な優先順位を設定可能。内部からの通信を優先順位により管理し、上位との通信を最適化。

●MAC アドレスによるアクセス制限

無線に加え、有線接続に対しても MAC アドレスによりネットワークアクセス許可をサポート。

●その他の新機能

無線での WPA2 暗号化サポート

PPTP による遠隔アクセスのサポート

IPsec トンネルのセキュリティ機能強化

第三者認証によるアクセス許可のサポート

SNMP による監視のサポート

POP3、FTP の不正ポートアクセスへの防御強化

価格及び出荷時期

●「Fireware9.1」「Fireware Pro9.1」を実装する製品は 9 月中旬より出荷開始
Firebox e-Series Peak は 180 万円～

Firebox e-Series Core は 45 万円～

● 「Edge 8.6」 を実装する製品は 11 月より出荷開始
Firebox e-Series Edge は 15 万円～

ウォッチガード・テクノロジーについて

ウォッチガードは、1996 年より業界をリードするネットワーク セキュリティ アプライアンスを提供しています。弊社製品はアップグレードが可能な設計となっており、主に中小規模企業のニーズを満たすべく、優れたパフォーマンス、機能、強固なセキュリティを提供します。ウォッチガードの ILS (インテリジェント・レイヤード・セキュリティ) は、新しい脅威を高い効果でかつ効率よく防ぎ、ウォッチガードから提供されるセキュリティ機能とサービスを統合的に使うことができます。すべてのウォッチガード製品には、90 日間のライブ・セキュリティ・サービスに初期登録する権利が付いており、脆弱性アラート、ソフトウェアのアップデート、専門家によるセキュリティ情報の説明などの顧客サービスを受けることができます。ウォッチガード社は、米国ワシントン州シアトルに本社があり、その他、北米、ヨーロッパ、アジア太平洋地域、南米にオフィスがあります。

詳細については、弊社ウェブサイトをご参照ください。

<http://www.watchguard.com/international/jp/>

本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社 担当：真田

TEL : 03-5275-5261、FAX : 03- 5275-5262、電子メール : JPNsales@watchguard.com

広報代理店 ウィタンアソシエイツ株式会社 (担当：米島、坂本)

TEL : 03-5228-0621、FAX : 03-5228-0629、電子メール : yonejima@witan.co.jp

WatchGuard、LiveSecurity、Fireware、Core、Peak および Firebox は、米国ウォッチガード・テクノロジー社の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。本プレスリリースで使われているそのほかすべての登録商標および商標は、各所有者に権利があります。